



# 多摩川

## 第4回

# 子ども環境

# シンポジウム

## みんなの発表誌



テーマ 「多摩川のここが大好き！」

© 2007,2012 ALUPIN・アイフィールド

2011年12月17日(土)に、フォレスト・イン昭和館(昭島市)で  
発表された内容をまとめました。

美しい多摩川フォーラム



## 自然との共生(つきあい方)

ギリシャ神話の有名なお話には、人間に火を与えたばかりに、神の中の神ゼウスの怒りを買うプロメテウスの悲劇が出てきます。昨年の3.11東日本大震災と同時に発生した福島原発事故の例をみると、プロメテウスがなぜゼウスの怒りを買ったのかがわかるような気がします。便利なものを一度手にするとその弊害に気がつきながら、なかなか手放すことができない人間の業をゼウスは知っていたのです。また人間自身の不完全な知識に過剰に依存せざるを得ないを見過ごし、不測の事態でコントロールが不可能になるもろさを現代社会といえども秘めていることをゼウスは知っていたのです。プロメテウスの人間に対する慈悲が、その後の文明の発達と同時に後悔の源泉を作りました。古人の知恵に現代人の知識はまだまだ追いついていないような気がします。

このフォーラムは3.11大震災の前から、「未来からの留学生」としての子どもたちに自然との共生(つきあい方)の重要性を理念として説いてきました。第4回を迎えた「多摩川子ども環境シンポジウム」はその理念を確認する重要な事業の一つなのです。では自然との共生(つきあい方)には何が必要なのでしょうか。一つは、「謙虚さ」でしょう。フロンを始め、人間が創造したものが自然を破壊しつくす事例を私たちは幾つも知っています。もうひとつは「素直な好奇心」でしょう。自然があるがままに見、そしてそこの隠された豊饒さ<sup>ほうじょう</sup>を学ぶことかもしれません。「未来からの留学生」である子どもたちによるシンポジウムに、未来の大きな可能性を見出し、大いなる期待をしているのです。



美しい多摩川フォーラム 会長 細野 助博

## 目次

◆開会挨拶／自然との共生(つきあい方)	1
◆開会宣言	2
◆会場アンケート	2, 21
【第1部：発表会】	
①「合唱」～東村山市立東村山第二中学校 合唱部～	3
②「レガッタそしてスカル」～多摩川でボートを楽しむ会～ 「多摩川でボートを漕ぐ楽しみ」～多摩川でボートを楽しむ会～	5
③「多摩川連想ゲーム」～青梅市立河辺小学校～	6
④「昔の多摩川、今の多摩川」～たちかわ水辺の楽校運営協議会～	7
⑤「多摩川の外来魚を釣る」～川崎市立久地小学校～	9
⑥「植樹イベントで学んだこと」～青梅市立西中学校～	11
⑦「浅川とあそぼう」～浅川潤徳水辺の楽校～	12
⑧「かいこちゃんとまゆ玉づくり」～青梅市立友田小学校～	13
⑨「多摩川アユ太郎物語」～おさかなポストの会～	15
⑩「タマゾン川」(特別出演)～東京都立園芸高等学校～	17
◆作品賞発表・賞状授与、閉会挨拶	19
【第2部：交流会】	22
	22

## 開会宣言

ただいまより、  
第4回子ども環境シンポジウムをはじめます。  
美しい自然を未来に残していくために、みなさんとともに  
環境について深く考えられる、そんな充実したシンポジウムに  
していきたいと思います。



日野市立 潤徳小学校 6年 足立 晴菜 さん

### 総合司会

川崎市  
生田中学校 2年  
山崎 穂垂 さん



### 会場アンケート回答者

性別	男		女		不詳		合計	
人数・構成比	40	62.5%	18	28.1%	6	9.4%	64	100%

年齢別	10才以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	10	4	7	7	16	13	2	5	64
構成比	15.7%	6.3%	10.9%	10.9%	25.0%	20.3%	3.1%	7.8%	100%

会員別	会員		非会員		不詳		合計	
人数・構成比	25	39.1%	34	53.1%	5	7.8%	64	100%

### 会場アンケート結果

質問 興味をもった発表は何ですか？（いくつでも）

回答者数 全体比

- |                               |     |       |
|-------------------------------|-----|-------|
| ①「手紙」「多摩川の歌」合唱                | 41人 | 16.8% |
| ②レガッタそしてスカル<br>／多摩川でボートを漕ぐ楽しみ | 22人 | 9.1%  |
| ③多摩川連想ゲーム                     | 34人 | 14.0% |
| ④昔の多摩川、今の多摩川                  | 26人 | 10.7% |
| ⑤多摩川の外来魚を釣る                   | 24人 | 9.9%  |
| ⑦浅川とあそぼう                      | 18人 | 7.4%  |
| ⑧かいこちゃんとまゆ玉づくり                | 23人 | 9.5%  |
| ⑨多摩川アユ太郎物語                    | 29人 | 11.9% |
| ⑩タマゾン川                        | 26人 | 10.7% |

質問 次回に期待するテーマは何ですか？

- 多摩川のしりとり。 ● 多摩川の紙芝居。
- 多摩川に由来する歌の合唱会。
- 多摩川の最初の一滴を確認しに、笠取山を登ってみるのも良い。
- 都心を流れる川との共存と、自然を楽しむ方法、施設等について。
- 多摩川がどうやってきれいな川に戻ったのか。
- 多摩川における放射能汚染量について。
- 多摩川と周辺文化の関係。
- 今後の多摩川をどうするべきか。
- 変わった趣味等の発表。
- 今回の発表にはなかった話題等。

質問 次回は自分も発表したいですか？

回答者数 構成比

- |                   |     |       |
|-------------------|-----|-------|
| ●発表したい            | 12人 | 17.1% |
| ●発表はしたくないが参加したい   | 17人 | 24.3% |
| ●参加しない            | 1人  | 1.4%  |
| ●周囲の人に参加・発表をすすめたい | 27人 | 38.6% |
| ●不詳               | 13人 | 18.6% |



© 2007,2012 ALUPIN・アイフィールド

1

## 合唱

「手紙」(作詞・作曲／アンジェラ・アキ 編曲／鷹羽弘晃)

「多摩川の歌」(作詞／谷川俊太郎 作曲／寺嶋陸也) ~東村山市立東村山第二中学校 合唱部~

東村山市 東村山第二中学校 合唱部 1年・2年のみなさん

あべ のぞみ かすや さき きくち みかこ さとう はるか さとう まいか さとう ゆうか  
**2年 安部 希望さん・糟谷 咲希さん・菊池 美花子さん・佐藤 春香さん・佐藤 麻依加さん・佐藤 優香さん**  
 しのだ ももえ しらね ななみ ますだ もえ もとはし かりん やまもと あやね よしの じゅい  
**篠田 桃衣さん・白根 菜々美さん・増田 萌さん・本橋 果林さん・山本 彩音さん・吉野 珠衣さん**

いそへ ありさ おんだ はるな きたがわ つきさと ごとう ななき さかた まいか ささき みほ  
**1年 磯部 亜利沙さん・恩田 晴菜さん・北川 月都さん・後藤 菜々紀さん・坂田 舞香さん・佐々木 海歩さん**  
 しばた ゆうき たなべ わかな なかい ふみか なかしま はるら はちすか こゆき はやし かほ  
**柴田 有紀さん・田辺 和奏さん・中井 文香さん・中島 遥良さん・蜂須賀 来幸さん・林 夏帆さん**  
 はやし みほ もとい あみ やすむら みさき  
**林 美穂さん・元井 亜美さん・安村 美咲さん**



## 多摩川の歌

女声合唱

作詞：谷川俊太郎  
作曲：寺嶋 陸也

Adagio  $\text{♩} = 76$

Soprano: おおぞらのたかみ ふるさとに  
Alto: おおぞらのたかみ ふるさとに  
Piano:  $p$

Soprano: してー  
Alto: してー  
Piano:  $p$

Soprano: してー  
Alto: してー  
Piano:  $mfp$

Soprano: み  
Alto: み  
Piano:  $p$

Sop. してー セセラギは うまれ 一ひろがる ほとば  
Alt. してー セセラギは 一 うまれ 一ひろがる 一 ほと  
Pf. cresc.  
Sop. しりながれてやまぬ 一 たまがわは きらめく 一 の  
Alt. ばしりながれてやまぬ 一 たまがわは きらめく の  
Pf.  $mf$   
Sop. みずべのさくらに ゆめをたく  
Alt. みずべのさくらに ゆめをたく  
Pf.  $dim.$   $p$

# 多摩川の歌

作詞／谷川俊太郎 作曲／寺嶋 陸也



© 2007,2012 ALUPIN・アイフィールド

## 1 大空の高みふるさとにして

きり つゆ ち し  
霧はまき露は地に滲み  
だいち ふか  
大地の深みをみなもとにして  
う ひろ  
せせらぎは生まれ拡がる  
ほとばし なが や  
迸り流れて止まぬ  
たまがわ  
多摩川はきらめくいのち

## 2 水辺の桜に夢を託して

みずべ さくら ゆめ たく  
つど ひと あそ こ  
集う人遊ぶ子どもら  
ひとびと こころ  
人々の心ゆるくむすんで  
みず あお もり みどり  
水青く森は緑に  
うず ま たた ふか  
渦巻いて湛えて深く  
たまがわ  
多摩川ははぐくむいのち

13

Sop. して つどうひと あそぶこども  
Alt. して つどうひと あそぶこども  
Pf. (mf)

15

Sop. ら ひとびとの こころ ゆるくむ  
Alt. ら ひとびとの こころ ゆるくむ  
Pf. (mf)

17

Sop. んで みずあおく もりは 一みどりに うずま  
Alt. んで みず 一あおく もりは 一みどりに 一 うず  
Pf. (cresc.) (mf)

19

Sop. いて たた えて ふかく 一 たま がわは はぐくむ いの  
Alt. まい て たた えて ふかく たま がわは はぐくむ いの  
Pf. (mf)

21

Sop. ち 一  
Alt. ち 一  
Pf. (dim.) (p)



なぜ私が多摩川でボートを漕ぎ始めたかというと、兄たちが漕いでいたからです。



姿を見ていきました。そしていよいよ漕げる年になった時は、ワクワクしました。最初は楽しく漕いでいただけでしたが、だんだんとスピードを出せる練習となるにつれてレガッタの大変さも分かってきました。そうして大会にもたくさん出られるようになり、うれしかったです。



ビックリしたことがあります。それは、川の両岸がコンクリートでかためられていることです。多摩川の両岸は草や木で自然が多く、気持ちよく漕ぐことができていました。でも、大会の会場は多摩川とは違っていたので、あまり気持ちよく漕ぐことができませんでした。そのうちなれると、リラックスして漕ぐことができるようになってきました。でもやはり多摩川が一番好きです。ゆっくりと漕ぐことができて、楽しいからです。



私は小さいころからコックスの人といっしょに乗って、家族が漕いでいる姿を見ていました。そしていよいよ漕げる年になった



大会が近づくと、練習がものすごくきつくて辞めたり、母に抗議したことだってありました。それがずっと続き、もうめんどくさくなってきたある日のことです。『スカルを漕いでみないか?』と言われました。その一言で、ボートを漕ぐやる気が出てきました。多摩川でもスカルを漕ぐことができるので、たまに見かけることがあります。スカルを漕いでいる人は一人で気持ちよさそうに漕いでいるので、一度は乗ってみたかったです。だから誘われた時は、とてもうれしかったです。(ひっくり返って、スカルから落ちてしまうのでは?)といろいろな不安はあります



すがまだ乗ったことがないので、乗れる機会があつたらぜひ挑戦してみたいです。



私は多摩川の土手沿いにある小学校に通っている事もあり、授業などで多摩川にふれる機会が多くあります。



(作文) ~多摩川でボートを楽しむ会~

大田区 嶺町小学校 6年 庄子 菜々さん

小学4年生の夏休みに、学校のイベントでボートを漕いだのですが、その楽しさが忘れられず、「多摩川でボートを楽しむ会」に入りました。「多摩川でボートを楽しむ会」は例年4月から11月まで月数回、多摩川ガス橋付近でボート教室を開催しています。

練習や試合で、戸田、鶴見、お台場などでもボートを漕ぎましたが、私は多摩川で漕ぐのが一番好きです。なぜなら多



摩川は緑豊かな自然に囲まれていて、日によって違う景色が見られるからです。例えば、鳥が木に止まって美しい歌声をひろうしてくれたり、1か月前まで青々と茂っていた草が、うす茶色に枯れていたりします。自然な土手が残されている川は、東京近郊では少



ないので、多摩川で漕げる時は嬉しいものです。

ボートに乗ると、立って歩いている時とは目線がかわるので、いろいろな発見をします。橋のわきには鳥の巣があり、たまに親鳥が巣の中に入ってヒナ



に餌をあげているのが見えます。土手を見上げると、驚くほど多くの人が散歩やマラソン、サイクリングを楽しんでいる姿が見えます。動物も人間も

多摩川の環境を上手く使って楽しんでいるだと感じます。

練習の途中、たまに「ボチャーン」と魚がはねます。また「さわさわさわ」と草と草がこすれあう音が聞こえます。こういう自然の音を耳にすると、不思議と元気がもらえ、オールを漕ぐ手にも力が入ります。

多摩川でボートを漕ぐのは、毎回いろいろな発見もあり、とても楽しみにしています。それに加え、「多摩



川でボートを楽しむ会」の人達はとてもやさしく、ていねいに教えてくれ、違う学校の子とも知り合い、仲良くなれました。私は多摩川でボートをこげる機会に恵まれた事を、とても嬉しく思っています。



3

# 多摩川連想ゲーム

(パソコン) ~青梅市立河辺小学校~

おかべ

いさむ

おかべ

あさむ

青梅市 河辺小学校 2年 岡部 淳くん 2年 岡部 統くん

ぼくは、青梅市立河辺小学校2年生の岡部湧です。

河辺小学校は東京都の愛鳥モデル校です。ぼくは、愛鳥博士のテストを1年生の2学期にうけました。すると1発合かくできて、今までの1年生では、はじめての第1号愛鳥博士になれました。これは愛鳥博士のバッジです。



これから、青梅の河辺川原で体験した楽しかったことを発表します。

ぼくたちが多摩川にきょうみをもったのは、学校からもらった「青梅・多摩川水辺のフォーラム」の『なんでもかんさつしちゃおう会』という1まいの手紙からでした。お母さんが「鳥や虫やはっぱや石など、なんでもかんさつできるイベントみたいだね。行ってみる?」と言ったので、「うん、行く、行く♪」「行きたい!行きたい!」と、ワクワク楽しみにしていました。

参加した日は、とつぜん『ミサゴ』がとんできて、こうしの上田先生が、「今日はめずらしい『ミサゴ』が見られて、みんなんラッキーですね」とおしゃってくれました。うれしかったです。

それから毎回イベントにさんかするようになりました。



5月のイベントは「しょくぶつかんさつとヨモギ団子作り」でした。しおの先生に教えてもらって作ったヨモギ団子と太陽ねつをりようしたハーブティーはとってもおいしかったです。



7月のイベントは「魚のつかみどり・ガサガサ水辺の生き物観察

を教えてもらいました。

9月のイベントは台風12号による川のぞう水ではじめてイベントが中止になってしましました。ぼくはライフジャケットをきて川にとびこんだことが

こんにちは!



ぼくは、青梅市立河辺小学校2年の岡部統です。ぼくも1年生の3学期には愛鳥博士になれました。

これは今年の7月にびよう気でなくなってしまった矢根校長先生が発行した本で、河辺小の子どもたち全いんにプレゼントしてくれました。ぼくは、この本をずっと大切にして、スーパー愛鳥博士になりたいです。

ないので、来年はぜつたい泳いでみたいです。



10月のイベントは「なんでもかんさつしちゃおう会」でした。

ぼくの大好きなカワセミは見られなかっただけど、ヒヨドリ・キジバト・ダイサギ・ハクセキレイやモズはかんさつできました。上田先生は石のもよににている「カワラバッタ」や「おかめどんぐり」も教えてくれました。

3月のイベントは「やきいも大会」がよていされています。早くやきいもが食べたいです。毎回、イベントには、河辺小学校の校長先生や副校長先生、いろいろな先生が一緒にさんかしてくれるのでとっても楽しいです。



ぼくたちの河辺小学校の校歌は「多摩川なーがれ・・・♪」と多摩川という言葉からはじめます。多摩川には学校から先生と歩いて行くこともあります。ぼくたちの生活の中で「多摩川」はいつもそばにいる気がします。

ぼくたちはイベントにさんかして気がついたことがあります。多摩川にはぜつめつしそうな魚や虫がたくさんいるから、よくわからないものは家に持ち帰らないようにしようと思いました。そしていつまでも多摩川で楽しくあそべるように、ゴミは家に持ち帰り、よごさないように大切にしたいなと思いました。多摩川を大切にすることとは、鳥や魚、虫や草や花などみんなを大切にすることで、それは大きく考えると、「地球」を大切にするということにつながるのかな?と思いました。



これから鳥のクイズを3問出します。名づけて「オス・メス どっち? クイズ~」



1問目。

これは、ジョウビタキです。  
「オス」はどちらでしょうか?  
.....  
オスは1ばんです。



2問目。

これは、マガモです。「オス」はどちらでしょうか?  
.....  
「正かいです」  
オスは2ばんです。



3問目。さいごの問だいです。  
少しむずかしいですが、よーく見て下さい。カワセミの「メス」はどちらでしょうか?  
.....

「正かいです」メスは1ばんです。カワセミのメスとオスは、くちばしで見分けます。オスのくちばしは全体が黒く、メスは下くちばしが赤いです。

このように鳥のなかには「オス」と「メス」で色がちがうものもいます。

「オス」は「メス」にプロポーズするときに目立つよう、きれいな色をしています。

さいごに多摩川を連想したゲームをしたいと思います。



「たまがわ♪」「たまがわ♪」

① 「たまがわ」と言ったら

「カワセミ」



② 「カワセミ」と言ったら

「魚とり」



③ 「魚とり」と言ったら

「つかみどり」



④ 「つかみどり」と言ったら

「ニジマス」



⑤ 「ニジマス」と言ったら

「魚」



⑥ 「魚」と言ったら

「鳥のエサ」



⑦ 「鳥のエサ」と言ったら

「虫」



⑧ 「虫」と言ったら



「カワラバッタ」

⑨ 「カワラバッタ」と言ったら



「石」

⑩ 「石」と言ったら



「石やきいも」

⑪ 「石やきいも」と言ったら



「ほっかほか」

⑫ 「ほっかほか」と言ったら



「おべんとう」

⑬ 「おべんとう」と言ったら



「お花見」

⑭ 「お花見」と言ったら



「さくら」

⑮ 「さくら」と言ったら



「うつくしい」

⑯ 「うつくしい」と言ったら



「たまがわ」

いじょうでおわります。ありがとうございました。

ちん しんえい  
立川市 第二小学校 4年 陳 晋栄くん

ぼくは、多摩川の今と昔について、調べました。そこで様々な本や写真集を見たり、昔の多摩川について、よく知っている方にお話をうかがいました。今日は、調べてわかったことについて発表します。

### —昔の多摩川について—

では、昔の多摩川についてのクイズを出します。この写真は、子供が多摩川で水あびをしている様子です。



この場所は、今のどこでしょうか。答えは、次の3つのうちのひとつです。

- ①今のたっぴばしの下
- ②今のまるこばしの下
- ③今のひのばしの下

ヒント 立川市と日野市の間をつなぐ橋です。

正かいは、③の今の「ひのばしの下」です。

昔は、多摩川も子供たちの一つの遊び場でした。もぐって泳いだり、魚をつかまえたり、自分たちで、おもしろい遊びを見つけて、遊んだりしていました。当時、川の水質は、今よりもよく、つかまえた魚は、食卓のおかずになることも、あったそうです。



立川市 第二小学校 4年 陳 晋栄くん

アユ、ウグイ、ナマズ、ウナギ、カジカ、オイカワの六種類以上の魚が当時いたそうです。

また、ていぼうは、今のように高くななく、当時は、今よりもひくく、また、今のように草でいっぱいではなく、木やてい木は、まったくなく、一面



きれいな砂利だったそうです。

では、なぜ多摩川は、急にこんなに変わってしまったのでしょうか。

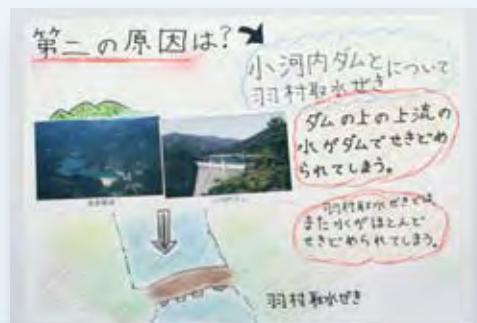
その理由は、4つです。

その一つは、昭和35年から50年の、第一次高度経済成長期(だいいちじこうどけいざいせいかうき)、各家庭などから、下水が流されました。生活はいすい、他の工業はいすいが原いんです。当時は、下水よりのシステムがなかったため、川にはいすいが流れ、川をよぎしました。



そして、もう一つは、昭和32年、奥多摩に、小河内(おごうち)ダムができました。

もともと、ダムは、東京都民の、のみ水をためとくのが目的ですが、ダムの上の上流の水が、ダムでせき止められ、そして羽村にある、羽村取水ぜきで、また水がせき止められ、中流や下流に流れる水が、少なくなり、だ



んだんきたなくなっていました。こうして、海へ流れ、海もおせんされてしまいました。

そして、もう一つの理由です。そのまえにクイズが一問あります。このクイズは、多摩川の砂利（じゃり）についての問題です。現ざい、多摩川では、砂利の採取（さいしゅ）が禁じられています。では、なぜ採取禁止なのでしょうか。答えは、下の3つのうちひとつです。

- ①特別いい砂利が見つかったから
- ②砂利をとりすぎてしまったから
- ③砂利が多くなってきたから

ヒント 昔、多摩川しゅうへんでは、川の砂利をとり、商売している店がたくさんあった。

これを、「砂利採取業」（じゃりさいしゅぎょう）という。

正かいは、  
②の砂利をとりすぎてしまつたからです。多摩川の砂利は、質がよく、特に関東大震災、戦後のふつこう等に、多く使われました。砂利をとりすぎたせいで、魚がすめなくなりました。

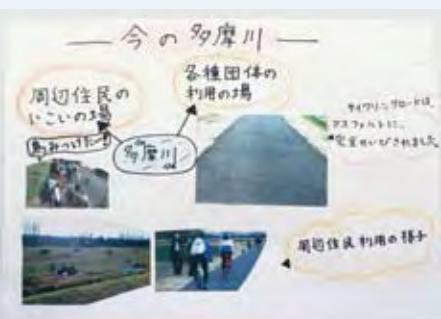
そして、もう一つの理由は、栄養のふくまれている物が、川に流されたからです。



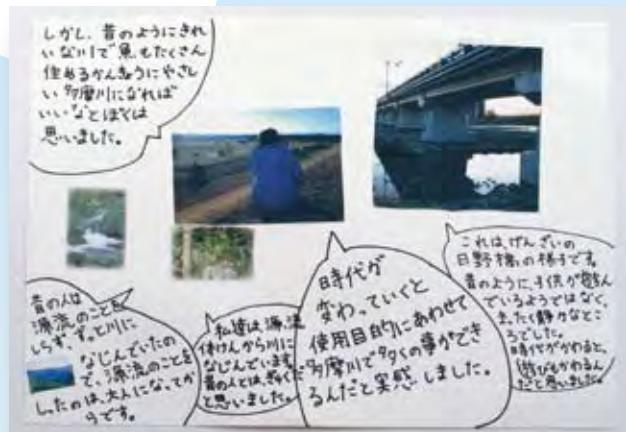
とてすべてきたないものです。例えば、生活はいすいの中の栄養を、植物が養分としてきゅうしゅうしょくしてしまったのです。その中にみられる植物には、外来種も多くふくまれています。例えば、オオブタクサやセイタカアワダチソウ、アレチウリ等々です。

## —今の大摩川について—

今の多摩川では、水もだんだんきれいになつてきています。これは、多くの人が、多摩川に关心をもってき



ているからです。そして、周辺住民のいこいの場として、野球、サッカーができるようになり、サイクリングロードでは、アスファルトに、完全にせいびされ、毎日のように、散歩、サイクリングを楽しむ人々を見かけます。

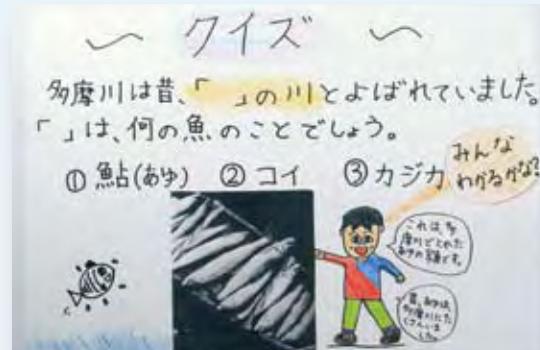


また、水辺の楽校や、各種団体も、多摩川を活用しています。

時代が変わっていくと、使用目的にあわせて、多くの事ができると実感しました。しかし、昔のようにきれいな川で、魚もたくさんすめる、かんきょうにやさしい多摩川になればいいなとぼくは、思います。

さて、最終クイズです。

昔、多摩川は、○○の川とよばれていました。その○○は、何でしょうか。



- ①鮎(あゆ)
- ②コイ
- ③カジカ

ヒント 昔、とくがわしうぐんけに、多摩川中流いきの鮎をごぜんの供するものとして、けんじょうしていたそうです。江戸時代のことです。

正かいは、①鮎の川です。

これでぼくの発表を終わります。

ありがとうございました。

指導先生 立川水辺の楽校 鈴木功さん

参考本 『多摩川の砂利採取と人びと』

『たちかわ：今昔写真集』

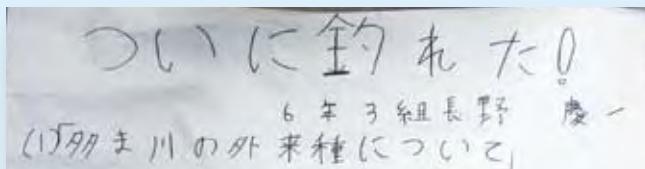
『立川民俗シリーズIV 多摩川と生活 魚と伝統漁法』

すべて立川市教育委員会より発行

ぼくたちは、多摩川で魚釣りをするのが大好きです。

あるとき、いつも行く多摩川でスマールマウスバスが釣れました。ぼくは、スマールマウスバスが何を食べているのか調べたりました。

ぼくたちは、スマールマウスバスは、ルアーにも食いつくのを知っているので、多摩川の魚を食べていると予想しました。



### (2) 研究のどうさ

ぼくは、多摩川で魚釣りを、していると、たまに、外来種が、釣あちこちに、あるので、何を食べているかを、調べてみたいが、と、

### (3) 研究の計画

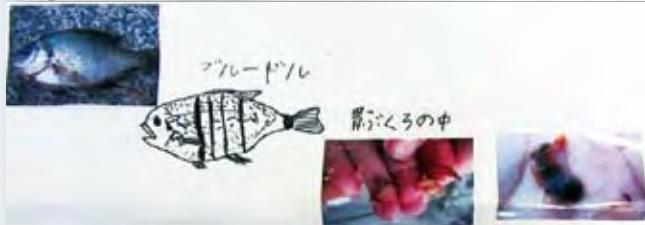
外来種を釣って、ハサミで、腹を、切り、胃ふくらみを見て、何を食べているかを、調べるために、ハサミと、タオル、エサの、三三大を用意する。

### (4) 自由の日

ぼくの予想は、日本の魚やエビを、食べていると、思います。理由は、外来種が、繁殖して、日本の魚を食べ、食べてしまうからです。

### (5) 6年 寄の様子と結果

魚釣りをして、その日は、ブルーギルが、5匹と、2匹もまた、腹を切って、見にくさ、見たう、腫れ起き、えんわあんなものが、と、ていました。しかしには、ヤゴのようだ、本のが、と、いました。



実際に釣れた魚の、胃袋をみてみると、モツゴのような在来の魚が出てきました。

また、あるときは、ブルーギルも釣れました。胃袋からは、ヤゴや沼エビが出てきました。おそらく在来の生き物が餌になっているのでしょう。しかも、そのブルーギルは小さいにもかかわらず、お腹に卵がたくさん入っていました。

このことから、バスやギルなどの、外来種は日本在来の魚などを食べてしまうから、食物連鎖(しょくもつれんさ)が崩れ、小魚が減り、在来の肉食魚のエサが少なくなってしまうのだと思います。

ながの よしかず  
川崎市 久地小学校 6年 長野 慶一くん  
ながの ゆうや  
3年 長野 優也くん

ぼくたちは、おさかなポストをたまに見に行きます。そこには、観賞魚(かんじょうぎょ)の熱帯魚や、

その、次の日は、朝も釣りませんでした。ですが、夏休みになりました。スマーリーの青ふくらみを、見つけました。スマーリーの青ふくらみを、見るとき。日本の、中くらいの魚が、スマーリーでした。スマーリー



このことが、外海種は、日本の、魚などと、食べて、しまったから、外海種は、物を食べ、いではいけないことが、ありました。スマーリー、イングリット等、調べたら、食べました。これが、いけないのです。



あと、日本の魚が、減ってしまうそうです。現在では、外海種が、20種類以上あります。外海種は、トガ食いきなとなり、日本海に、がしてしまいます。それが、ほとんどして、日本の、魚を、食べてしまっています。

### (6) まとめ

ほくは、また、外海種の、胃ふくらみが、日本の魚を食べています。これが、とても、かっこいいです。みんなです。そのため、食べられないで、思いました。もしも、外海種を、アフタヌーン、割りと、して、ます。たまに、したが、これが、かわいいのが、あります。ですが、外海種は、釣り方が、少しして、また、がきと、手を、します。あと、20種類以上の外海種が、どれ位は、あります。でも、外海種は、はがしたとしても、外に飛んでしまうのも、かく、いきます。なぜ、4歳の、自由研究者さん、なぜ、私が、それが、どのようか、と、かわいく、話を、します。大きくなりきが、多く、かわいく、話を、します。

大型の肉食魚が入れられているのを見たことがあります。それが、そのまま多摩川に放されていたら、今以上に外来魚が増えてしまうので、魚を飼う人は最後まで飼う責任があると思います。

バスやギルは引きがいいので、釣るのがとても楽しいです。

でも、釣ったバスやギルを再び川に戻すことはやめようと思います。

以前、自由研究のために、バスのお腹を切ろうと思ったら、となりで、フナを釣っているおじいさんに、「どんなことがあっても、生き物は殺してはいけない!」と怒鳴られました。

おじいさんが怖かったので、おじいさんが去った後バスのお腹を見ました。次は、堂々と、「こういう外来の肉食魚が増えると、フナだっていなくなっちゃいますよ」と大きな声で言いたいです。

これからも、多摩川でいろいろな魚をつり、どんなものを食べているのか調べていきたいと思います。

ありがとうございました。

9月10日、私たち西中学校は、暑い中、「植樹イベント」という体験をさせていただきました。



もともと環境問題などに興味があり、とても楽しみでした。いざ体験して、木を植えることは予想以上に難しかったです。広葉樹などを特に植えたのですが、私が興味深かったのが、「スギ花粉が出ないスギの樹木」です。

私の知り合いや母親が、花粉症で毎年悩まされているので、とても良いと思いました。

やはり植樹イベントは、山や私にとって、とても良い経験になりました。



た。将来、もし娘や息子ができるなら、樹木を植えたところに一緒に行って、話してあげたいです。本当に素晴らしい体験を、有り難うございました。

他にも、いろいろな人に感想を聞きましたので、紹介します。

最初は、分からぬことも沢山あったけど、教えてくださる先生方が手伝ってくれたので、上手く木を植えることができた。



木を植えることが、こんなに大変だということが分かりました。急斜面で掘るのも大変で、木の根や石ころがぶつかってしまって大変でした。でも、貴重な体験で面白かったです。

暑い中おこなったので、とても大変でした。ですが、地球にとって、とても良いことをしたので、良い経験になりました。木を植えるのが、どれだけ大変か分かりました。



しおの みづき  
青梅市 西中学校 2年 塩野 美津希さん

ただ木を植えるのではなく、腐りきっていない植物をどこかして植えるのは、大変でした。未来の人のために良いことをするのは、気持ち良かったです。



今回、植えた木が元気良く育って、少しでも緑が増えてくれると嬉しいです。ボランティアをされている人たちの大変さが分かって、とても良い経験になりました。

私は花粉症です。なので、ボランティアが出来てすごく良い経験になりました。大変でしたが、楽しく出来ました。

僕は、植樹イベントで、森林が出来るまでかなり長い年月がかかることが分かりました。

自分たちが木を植えることで、とても地球のためになることが、改めて分かりました。

この素晴らしい体験を企画していただいた方々、当日手伝ってくださったボランティアの方々、本当に貴重な体験を有り難うございました。



これから、浅川潤徳水辺の楽校の発表を始めます。



## 水辺の楽校

浅川を昔のように、自然豊かな環境に少しでも近づけ、そこで子どもたちがおもいっきり遊ぶことができる自然体験の場のこと

これから、水辺の楽校の一年間の活動を紹介します。

4月は、多摩川、浅川、クリーン作戦でした。

テレビなどの大きなものから、タバコの吸いがらや花火の燃えかすなどの小さいものまで、たくさんのゴミが落ちていました。私たちの浅川に、こんなにもゴミが落ちていることを知って、心が痛みました。



### ● 5月 浅川で遊ぼう 1 ターザンロープ・石縄・跳げなど



「私たちは、5月に家族で水辺の楽校へ行きました。

石に絵をかいたり、ふえをつくりました。

一番楽しかったのはターザンロープです。ロープにつかまっておしてもらうと少しこわかったけど、すごく楽しかったです。また、遊びに行きたいです。理由は、友だちといろんな遊びをしたいからです。今日は水辺の楽校で作ったふえをふきます。」



5月は、浅川で遊ぼう1でした。1年生の横井真優さん、お願いします。

### ● 5月 浅川で遊ぼう 1 竹馬・竹とんぼ・石縄・跳げなど

日野市 潤徳小学校 6年 足立 晴菜さん・5年 小野寺 香乃さん  
5年 中野 俊輔くん・1年 横井 真優さん



6月は、身近な水環境の一斉調査でした。ふれあい橋、向島用水取り入れ口、とんぼ池、水車小屋の4地点を調べました。5年生の小野寺香乃さん、お願いします。

「私は6月に浅川や向島用水の水質調査をしました。まず、CODを調査しました。CODとは水の中にふくまれている有機物によるよごれを数値で表した物です。調べたところ、ふれあい橋付近で2ミリグラム、水車小屋で1ミリグラムでした。



次に、とうし度を計測しました。計測すると、ふれあい橋付近と、水車小屋は百三十センチメートルでした。

この事から、浅川の水はきれいな事が分かりました。私の家の近くにある川がきれいだと知ると、とても気持ちよかったです。これからも浅川を大切にしたいです。

また、5年生は近くの方の田んぼを借り、水辺の楽校の皆さんのご指導で米作りを行いました。これは田植えの様子です。」



8月には、浅川の源流を見学しました。

また、浅川で遊ぼう3もありました。



浅川で思い切り遊びました。今年は上流の雨で水かさが増し、いつもより速い流れでした。滝をすべているとそのまま流されそうになったり、川を

歩こうとするだけで足をとられたりと、川のおそろしさが感じられる場面もありました。

でも、三脚から飛びおりた時や、川を泳いで渡りきった時の気持ちちは最高でした。



9月は、浅川で遊ぼう4でした。

みんなで草をかきわけて、植物や虫を探しました。見つけた植物を使った遊びも教わり、夢中になって遊びました。手で虫をつかまえたときは、自分の手の中で動く命を感じ、命の大切さを学びました。

10月は、稻刈りと脱穀をしました。

米づくりについて、5年生の中野俊輔さん、お願いします。

「僕達は、総合的な学習の時間に米づくりをしました。

まず体育館で水辺の楽校の水口さんから米づくりや田んぼの環境についてお話を聞きました。8月にお米の花が咲くことを知りおどろきました。教室で見たDVDでは種もみ二つぶでちゃわん一杯分の米が出来ることを知りました。

いよいよ5月には田植えをしました。どろがぬるぬるしていたので、歩くのが大変でした。また、ずっと腰を曲げているのはつらかったです。この時この田んぼの水が浅川の水を引いているということを知りました。

10月には稻刈りをしました。その前に大きな台風があったので心配でしたが少ししかたおれていなかったので良かったです。先生に水辺の楽校の方々が守ってくださったと聞きました。稻刈りは最初ドキドキしていましたが、かまを二、三回前後に動かしただけで切れたのでびっくりしました。

僕達は収穫したお米の生かし方についてクラスで話しあいました。その結果、東日本大震災の被害にあった福島県いわき市立中央台南小学校の5年1組にマドレーヌを作って送ることにしました。それは僕達のクラスに一学期間避難してきた友達がいて手紙で交流しれているからです。マドレーヌはお世話になったかた

がたにも渡します。

僕がこの米作りを通して学んだことはお米を作るにはたくさんの手間と時間がかかるということです。このようなことを知ったので今度からはもっとお米を味わって食べたいです。」

11月は、日野市の地域清掃に参加しました。

水辺の楽校でもごみ拾いが行われ、一人一人が力を合わせて、きれいな日野市を目指しました。



1月は、浅川で遊ぼう6のどんど焼きの予定です。どんど焼きの組み方もさまざまです。

これは、昨年のどんど焼きです。かまくらづくりという名前です。

こちらは今年のどんど焼きです。びじんづくりという形でできています。

どんど焼きの火が小さくなるとその火でだんごを焼きます。焼きたてのほかほかしただんごは何よりの楽しみです。



来年のどんど焼きにも参加したいと思います。

水辺の楽校では、多くの活動を行っています。

これは、小倉先生をはじめ、企画をしてくださった方々のおかげです。本当にありがとうございます。



これからも、水辺の楽校で学んだことを活かして、美しい自然を未来に残していくたいと思います。

以上で浅川潤徳水辺の楽校の発表を終わります。

これから「かいこちゃんとまゆ玉づくり」についてはっぴょうします。

青梅市  
友田小学校

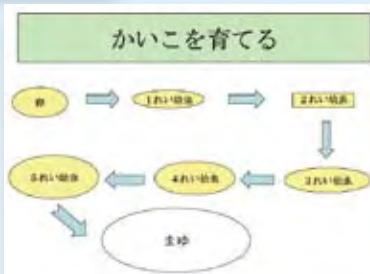
こぱり まさし さいとう しまだ みゆ  
3年 小針 理史くん・3年 斎藤 りるさん・3年 嶋田 魅優さん  
すの あやな たかの さら とよだ はるひ  
3年 鈴野 文那さん・3年 高野 桜蘭さん・3年 豊田 春陽さん  
ふくいすみ しほ ほりい ひまり みなみ りな  
3年 福泉 志歩さん・3年 堀井 陽葵さん・3年 南 里奈さん



かいこはたまごからかえると1れい2れい3れい4れい5れい幼虫と成長しまゆをつくります。

友田小学校のシ

ンボルツリーはくわの木です。友田小学校がちいきはむかしからかいこをそだててきぬ糸をつくっています。



かいこちゃんのえさはくわのは



かいこのえさはくわの葉です。かいこが育つまでちかくのうかのかたからくわの葉をわけてもらいました。

かいこちゃんのたまご



これがかいこちゃんのたまごです。めずらたまごを1回に500個ほどみます。

たまごからかえったところ



うまれたばかりの幼虫は、頭が黒く体も黒い色をしています。体全体に毛がはえています。

たまごからかえったばかりの幼虫を1れいといいます。1れい幼虫はかむ力がよわいので、きざんだくわの葉をあたえます。3ミリの幼虫が3日で7ミリになります。

かむ力がよわい1れい幼虫



2れい幼虫は頭がくろいです。2日半で12ミリになり脱皮します。

あたまが黒い2れい幼虫



3れいになると頭が大きくなります。



カイコは大きくなって皮ふがきゅうくつになると新しい皮ふがつくられます。

新しい皮ふがつくられるあいだは、カイコはくわを食べません。頭をもたげてじっとしています。頭をもたげてねむっているようにみえます。

ねむっている4れい幼虫



もりもり食べる5れい幼虫



5れい幼虫は、もりもり1しうかんたべづけます。からだの大きさは7センチの25グラムほどになります。1れい幼虫のときの1万倍以上の体重になります。

口から糸をはいで  
まゆづくりの準備です。

頭を八の字をかく  
ように動かしながら、  
体のまわりに糸をは  
いていきます。つくり  
はじめてから半日でまゆの形ができます。

まゆができきました



まる2日かかって  
まゆはかんせいしま  
す。

まゆができました



まゆの中はどうなっているので  
しょう



まゆをつくりあえたかいこは、まる1日  
くらいたつとまゆの  
中で脱皮してさなぎ  
になります。

友田小学校がある

ちいきはようさんがさかんでした。

まゆづくり

まゆづくり

まゆだまは、まゆの  
ほうさくをいのって木  
にかざられます。

まゆだまは、米粉を  
つかってつくります。

まゆ玉の由来（ゆらい）

- 友田小学校がある地域（ちいき）は養蚕（ようさん）がさかんでした。
- まゆ玉はまゆの豊作（ほうさく）を祈（いの）って木にかざられます。

まゆ玉づくり



はみんなが元気でいちねんすごせるようにねがいがこめられています。

つくったまゆだま  
は、きにさします。

友田小学校の校庭  
では、毎年1月15日ぜんごにどんどやきが  
おこなわれます。どんどやきではおしょうがつかざりをたきあげ、まゆ玉だんごをやいてたべ、1年のほうさくとけんこうをねがいます。

どんどやき



### かいこちゃんを育てた感想

豊田春陽 かいこはくわのはをたくさん食べて、  
ふんをするのでまいにちおそうじするのがたいへんでした。

高野桜蘭 最初はちょっとかわいくなかったん  
ですけれど、育ててみるとかわいくなっ  
てきました。もっちり太ったすがたがか  
わいかったです。

嶋田魅優 家でかいこがだっぴしていてびっくり  
しました。だっぴの写真をとってきね  
んにのこしました。

福泉志歩 かいこをそだてていたらおもしろく  
なりました。たのしくなりました。

南 里奈 わたしがくわのはをあげるとかいこ  
さんがみんなあたまをあげてくれてく  
わのはをもりもりたべました。

鈴野文那 わたしはかいこをそだててかいこが  
すきになりました。またそだてたいで  
す。

小針理史 5れいようちゅうぐらいになると1回  
に1ミリぐらいたべていました。いっぱ  
いたべていました。

堀井陽葵 さいしょは、かいこがきもちわるかつ  
たけど、かいこがすきになりました。わ  
たしはいっしょけんめいそだてま  
した。かいこはかわいかったです。

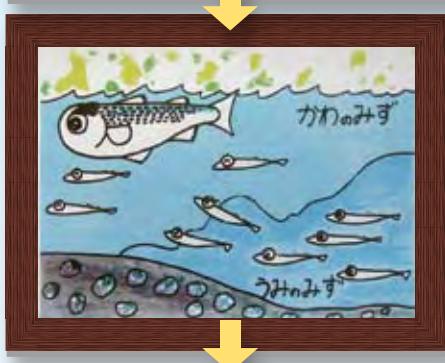
斉藤りる 1れいから5れいようちゅうのなか  
でせわが一番大へんなのは、5れいよ  
うちゅうです。5れいようちゅうは、く  
わの葉も15まいあげなければいけま  
せん。



これから  
「多摩川アユ太郎物語」を  
始めます。



あゆの赤ちゃんは、冬の間、水のあたたかな羽田空港のそばの東京湾ですごします。そして、春になると、ボラのおじさんと一緒に海から川にのぼっていきます。このとき、海の水と川の水の境目を塩水(えんすい)くさびといって、あゆの赤ちゃんは一生懸命上つ



て行きます。そして、あゆの赤ちゃん、どんどんどんどん川をのぼっていくと、目の前に大きなコンクリートの壁が出てきました。そしてこっちには、大きな口が。



ここで「あゆ

きき3連発！」

**ききその1.**

あゆの赤ちゃん、大きなお魚さんに食べられてしまっています。大きな口のこのお魚さんの名前、わかる方いらっしゃいますか？もしかしたら、このお魚さんと同じ名前の人があ

教室にいたり、今ここの場所にいるかもしれません。

(会場から)『ハイ！スズキ！』

大当たりです。拍手～。

そうなんです。このお魚さん、スズキといいます。スズキはあゆの赤ちゃんを食べるため河口からあゆの後ろをそおっとそおつとついてきます。

**ききその2.**

あゆの赤ちゃんがききを乗り越えて、どんどんどんどん、このお魚の階段をのぼっていきます。さっき目の前に出てきた大きなコンクリートで魚がのぼれないと困るので、こうやって魚の階段をつけてあげています。そして、元気よく、あゆはこのように、魚の階段を上っていくと、目の前になんと、大きな鳥がいます。黒いくちばしに黄色い足、白い体、さて、この鳥はなんでしょう？誰か分かる人？

(会場から)『ハイ！コサギだと思います』そうです。大当たり、拍手～。

そうなんです。僕のいってくれたとおり、この鳥さん、コサギといいます。コサギの特徴は、黒いくちばしに黄色い靴下をはいたような足です。これが決定的瞬間(写真)です。大きなサギがあゆを捕まえて食べちゃってます。このように、サギはあゆをどんどん食べちゃいます。



ますか？もしかしたら、このお魚さんと同じ名前の人があ



さて次は、

**ききその3.**

みんなのお隣にもいる、そうです。人間なんですね。人間は、伝統漁法(でんとうぎょほう)の友釣り(ともづり)や投網漁(とあみ)を使って、あゆをどんどん食べちゃい



ます。でも、なん  
で取るかとい  
うと、そうです。  
あゆおいしいです  
よね。この中で  
あゆの塩やき食  
べたことある  
人？おいしかっ  
たでしたか？お

いしいよね。私もあゆの塩やき大好きです。

と、こうして、人間はあゆを食べて、おなかいっぱい  
になったけど、あゆはききを3つも乗りこえて、おなか  
ペコペコです。

さて、ここで問題です。あゆが食べるものは、次のう  
ちなんでしょうか。

- ①小魚
- ②石に付いた  
ヌルヌル
- ③虫

①だと思う人?  
②だと思う人?  
③だと思う人?  
そうだね、答え



は、2番の「石に  
付いたヌルヌ  
ル」なんだよ。あ  
ゆが石に付  
いた、ヌルヌルを  
食べると、石は  
真っ黒くツルツ  
ルピカピカにな  
ります。そして、

この自分でツルツルピカピカにした石をなわばりにし  
て、どんなに大きな魚でも、同じ種類の魚でも、どんな  
生き物もよせつけません。



そして、秋に  
なって、ススキの  
穂がみのるころ、  
あゆのお母さん  
とお父さんは、  
恋をします。恋を  
して、ラブラブに  
なったのはいい  
けど、あゆのお母  
さん、卵を産む場所を忘れてしました。みんなで、  
教えてあげましょう。

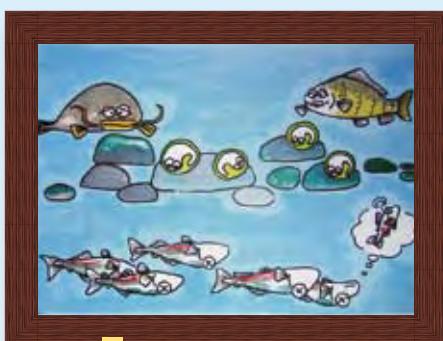


- ①みずくさ
- ②せの石
- ③ふちの石

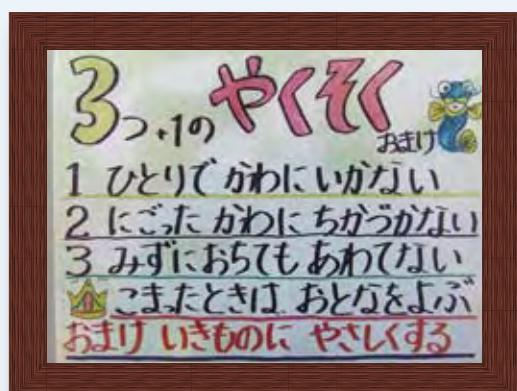
から、あゆの卵が健康に育つんですよ。

あゆのお母さんとお父さん、卵を産んだ後にすぐに死んでしまいます。このように1年で死んでしまう魚を年魚(ねんぎょ)といいます。

あゆの卵は、  
目が出てきはじ  
めました。そ  
うすると、また、  
春になるまで水  
のあたたかな海  
で暮らします。



これで、あゆ太郎物語を終わります。  
ありがとうございました。



最近、私が幼い頃から慣れ親しんでいた多摩川が、「タマゾン川」と呼ばれているのをよく耳にします。

なぜ、私たちにとって、最も身近な多摩川が「タマゾン川」と呼ばれるようになったのでしょうか。

過去の文献によると、明治初期の

多摩川はアユ漁が盛んで、大変綺麗な川として知られ、サクラマス、シマドジョウ、ウナギなどが生息していました。しかし、昭和30年から40年頃の高度経済成長期に入ると、流域の都市化が進み、人口が急激に増加しました。それにも関わらず、それに見合った汚水処理などの対策がされず、排水が垂れ流しにされました。そのため、「飲めない、泳げない、泡だらけの多摩川」と言われ、「死の川」とまで呼ばれました。そこには、ユスリカ、ハナアブの幼虫といった、非常に汚い水に生息する生物しかいませんでした。以前に生息していた生物は激減し、一時はほぼ壊滅するという状況まで陥りました。明治時代にたくさんいたアユも姿を消してしまいました。しかし、昭和50年代に、流域の都市部で下水道整備が進められ、下水処理水が綺麗になつたため、水質が浄化されました。現在の多摩川はメダカなどの魚類、スジエビなどの甲殻類など、多種多様な生物が確認されています。昭和初期に生息していたアユやウナギも戻ってきました。

私が小さい頃、父親と釣りに行ったときの多摩川は、今よりも汚かったイメージがありました。しかし、下水処理の技術が上がったことで、川に入ることへの抵抗がないくらい多摩川は綺麗になったと思います。その代わり外来種が増えた事も事実です。

現在の多摩川は、年間200万匹のアユが遡上しています。しかし、その一方で下水処理水は水温が高いので、多摩川の年間平均水温が20度を超える所もあり、熱帯魚でもすめる川になってしまいました。ではなぜ多摩川の水温は高いのでしょうか。多摩川の源流は山梨県の笠取山から流れていますが、その水のほとんどはダムに溜められ飲み水に使われます。一方、多摩川に流れている水の70%は家庭から出るお風呂の水などを下水処理した水です。下水処理場では水質は浄化されても水温までは調整されず、そのまま流されます。これが多摩川の水温が高い理由です。

多摩川には、ペット用などで飼われていた外国産の魚が放流され、その環境ゆえに、様々な種類の魚が生息しています。その種類の多さからアマゾン川になぞ



られて、「タマゾン川」と呼ばれるようになったのです。多摩川は外来種が放流され、生態系が脅かされている典型的な例となっていました。

この放流行為を防ごうと外来魚の監視をしている、川崎河川漁協の山崎充哲さんを訪ね、話を伺ってきました。多摩川でこれまで見つかった外来魚は、外国産のナマズ類、熱帯魚のグッピーやエンゼルフィッシュなど、200種を超します。このほとんどが放流されたものです。外来魚はここ2、3年で爆発的に増えました。これ以上外来魚の種類が増えるのを防ぐために、山崎さんは、組合と協力して5年前に多摩区管にある稻田公園魚の家に「おさかなポスト」を設置しました。ここにはペットが大きくなりすぎて手に負えない人や、不景気による経済的な理由で飼えなくなった人が来ます。昨年までに3万匹以上、300種近くの魚が持ち込まれました。最近では、東日本大震災で飼育環境を失った被災の方が多いのペットを持ち込んでいるそうです。その中にはナマズ類のレッドテールキャットやピラニア、ガーパイクといった魚がいます。また「里親制度」もあります。このポストは、外来種の、観賞魚などの無差別放流防止に大変役立っています。

去年、学習発表の場である「園芸展」で、私たちのクラス、2年動物科は多摩川の魚の展示をしました。そのために11月の多摩川に魚を採集しに入りました。最初は寒かったのですが、すぐに慣れてしまう程水温は高く、熱帯魚が生息できることに納得しました。この時は、アユ、ウキゴリ、ドジョウ、ウナギ、カムルチーなど、たくさんの魚を採集できました。カムルチーという魚は環境省が定める要注意外来生物リストに入っている魚です。他にもたくさんの外来種が数時間の間に採集できました。多摩川は予想していた以上に、外来種であふれているのに驚きました。

園芸高校では「課題研究」という授業があり、自分たちで研究テーマを決めて、調査・研究をしています。私は「多摩川の外来種が与える生態系への影響」をテーマとしました。このテーマに決めたのは、動物科の環境コースの授業でよく多摩川に行き、調査をしているうちに外来種の問題に気づき、関心を持ったからです。そこで、多摩川に害を与えていた外来魚を調べました。多摩川および全国に拡がって害になっているのは、オオクチバス、コクチバス、ブルーギルの3種です。オオクチバスとコクチバスは別名ブラックバスと呼



ばれています。これら3種は、特定外来生物被害防止法の指定魚です。

ブラックバスは、日本のほとんどの都道府県で生息が確認されています。大型の動物食性の魚で魚類・甲殻類だけでなく、昆虫や鳥の雛まで、環境に合わせて自由自在に餌を変えます。あるデータによると、1匹のバスが1年間に食べる餌を魚に換算すると、自分の体長の10分の1ほどの魚約1000匹が必要です。1つの湖にバスが1000匹いるとしたら、年間100万匹の魚が減ることになります。実際に、オオクチバスによって、宮城県伊豆沼のゼニタナゴが絶滅しました。私は、本当にブラックバスが在来種に被害を与えていたのか自分の目で確認するために、多摩川の石田大橋付近でコクチバスを釣り、解剖して胃の内容物を調べました。胃の中には、カワムシやヌマエビ、ヤゴが出てきました。10センチのバスからはカゲロウの幼虫が約20匹出てきました。このように、ブラックバスが在来種や生態系に対して大きな影響を与えていたことを身をもって実感しました。

ブルーギルもほとんどの都道府県で確認されています。食性は雑食性で、小動物や他の魚の卵、水草の新芽などを食べます。体長14センチのブルーギルが、体長6センチのモツゴを捕食することを実験で確認しました。ブラックバスもブルーギルも自分の体の半分近くある魚でも、口に入れれば捕食してしまいます。

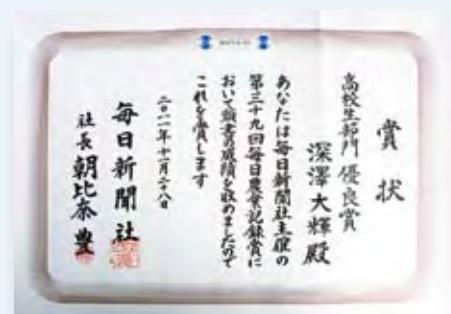
なぜこの3種が増えてしまったのでしょうか。日本に生息してしまった外来魚には共通点が2つあります。1つは、古来の食物連鎖に存在しなかったため、天敵がないという点です。もう1つは、自分の子を守る独特な習性があるため、生存率が高いという点です。ブラックバスの産卵数は5000~7000粒で、ブルーギルは2万~3万粒です。そして、この卵を地面に掘った「産卵床」という穴で孵化まで守り、ある程度の大きさになるまで育てます。そのため、他の魚に襲われにくくなり、生存率が高くなります。そして、大きくなると天敵がいなくなり、さらに増えます。また、ブラックバスは、釣りなどのレジャーのため、ブルーギルは、そのブラックバスの餌として放流されました。しかし、実際、ブラックバスはブルーギルよりも弱い在来種を食べているという事実があります。このように、放流行為こそ、外来種問題が起きる大きな原因となっているのです。

今の多摩川の生態系と生物多様性を守るために、私たちがこれからしなければいけないことは、2つあります。1つ目は、これ以上、多摩川に外来種を持ち込みま

ないことです。外来種の放流はもちろん禁止ですが、飼えなくなった生物を捨てないことです。これは、飼うときにその生物のことをしっかり知つていれば、防ぐことができます。そのためにも、飼い主が最後まで飼いきれるように、ペットショップ側も販売しようとする生物について、責任持って説明しなければいけません。2つ目は節水です。節水することで家庭排水の量は減り、多摩川に流れる水も減ります。そうすると、多摩川とその周辺に生息する動植物の生活環境を守るために、ダムから水を流すことになります。ダムに溜められている水は冷たく、多摩川の水温も低くなります。その結果、熱帯魚は生息できなくなります。そのような状況を考えて、皆さんも、普段の生活の中で意識して節水してください。

現在、地球上では毎年4万種もの生物が絶滅していると言われています。それにはたくさんの原因がありますが、その中に外来種問題も含まれています。元々いなかった外来種が入ってくることにより、地域固有の生物の生息地が奪われ、捕食されることにより、在来種の数は減ります。このように、保たれていた生態系のバランスが崩れ、生物多様性は守られなくなり、最終的には絶滅します。

去年、名古屋で、COP10という国際会議が開かれました。そして、国連は今年から2020年までの10年間を「生物多様性の10年」としました。これから世界中で、生物多様性を守るための取り組みが始まります。東京に住む私たちがしなければいけないことは、まずは多摩川を守って、未来に残すことだと思います。残念ながら、多摩川は「死の川」を経験したことで、当時の在来種は死滅し、昔のような独特の生態系を持った川にはもう戻りません。しかし、その「死の川」をここまで綺麗にできたのだから、これ以上外来種を増やさないことも、私たちの努力によって、きっとできると確信しています。私たちはもうこれ以上、多摩川のような川をつくってはいけないので。そして、1日も早く、「タマゾン川」という名前を返上できる日が来るよう、私たち1人ひとりが考え、行動していかなければならぬと思います。



## 会場アンケート結果

質問 発表を聞いて何が学べて、どんな感想を持ちましたか。

- 歌が上手くて感動した。
- みんな、素晴らしい発表だった。多摩川を大切にしたい。
- 多摩川はこんなに大切なだと実感した。
- 子どもたちの一生懸命な所。
- 小学生、中学生の一生懸命な姿に感動した。
- 子どもたちの真剣な姿にいつも感動させられる。
- 子どもたちの観察力、研究成果に感心した。
- 子どもと環境の未来を考えていかなくてはいけないと思った。
- みんな、多摩川を愛していると感じた。
- 多摩川について、色々な活動をされていることが分かった。
- 多摩川を守っていきたい。合唱に感動した。河辺小2年生が立派だった。この活動、この子どもたちがいることが未来への希望。どの発表も工夫していて、内容もバラエティーにとんでいて、感心した。
- 多摩川が「タマゾン川」と呼ばれているとは知らなかつた。
- ③番の発表が面白かった。また聞いてみたい。
- どの発表も、良く研究されていて、素晴らしいと思った。
- 多摩川も、アユが帰ってくるほどきれいになってきているが、バーベキュー等で河原を汚す人もいて、残念に思う。自然を楽しめるよう、環境を整備していかなければ良いと思った。
- 多摩川が、子どもたちの身近な川であることが喜ばしいと感じた。
- 外来魚の多さ、在来魚がなくなってしまうこと。
- 多摩川をみんな愛しているのが良く分かる。良い川だなと、つくづく思った。多摩川沿いの学校で、低学年の子を多摩川に連れていっているが、今回のようなシンポジウムを見せたいと思った。もっとPRして、一回り大きな会場にしたら良いと思う。多摩川沿いの学校にポスターを貼ってもらえば良いと思う。
- 多摩川について、広い地域で関心を持っていることを知った。発表で、米に花が咲くことを初めて知った。
- 多摩川を通じて、小学生たちが何を感じて学んでいるのかが分かり、勉強になった。



- 子どもたちがとても頑張っていたので、感動した。
- みんなすごく個性的で、良い発表だと思った。閉会の挨拶は良いものだったが、相手が子どもなので、言葉を選んで、もっとわかりやすいものにすれば良いのにと思った。
- 今の多摩川は、昔の多摩川より汚く、きれいにしようとしていること。
- みんな多摩川のことや他のことを詳しく調べていたので、すごかった。
- 「多摩川子ども環境シンポジウム」にとても関心を持った。今後も注目したい。
- 上手で、内容のある発表だった。
- 多摩川の自然の大切さと、今後も自然を維持する工夫の大切さ。
- 良く調べて、まとめられていると思った。
- 「多摩川の自然を元に戻そう、守っていこう」という気持ち、働きかけが大切だということを再認識した。
- 多くの学生が、多摩川から自然の大切さを学んでいることが分かった。身近に豊かな自然があることを有り難く思った。
- 大変素晴らしいかった。
- 自然の中で遊ぶ機会が少なくなっているが、一歩川に近づいてみると、鳥、虫、魚、草木の季節の移り変わりを感じる。そんな自然を、子どもたちは五感で感じているなと思った。これからも、自然と遊ぶ機会を持続されるといいなと思う。
- 外来種によって、多摩川の生態系が壊されていることはとても残念だ。人は昔から、川と共に暮らし、文化を発展させてきた。これからも、多摩川と共に楽しく暮らしていきたいと思う。合唱が素晴らしいかった。
- 低学年の子どもたちが、素晴らしい発表をしていた。
- 食物連鎖が崩れている。普段外来種のことに関心を持つことはなかったが、発表をきっかけに関心を持った。他人事ではないと感じた。
- 「多摩川」をテーマに、様々な取り組みがされているなあと感心した。
- シンポジウムを継続開催し、次の世代へ多摩川の素晴らしさを伝えていってほしい。



# みなさん、発表おつかれさまでした！

## 作品賞発表・賞状授与



みんなでがんばった  
素敵な発表ばかりでした。

## 第2部：交流会



発表の緊張もほぐれ、和やかに交流を深めました。

## 閉会挨拶

美しい多摩づくり運動を推進する

# 美しい多摩川100年プラン

美しい多摩川フォーラムは、平成20年4月、経済・環境・教育文化を運動の柱に、多摩地域の将来を見据えた基本計画「美しい多摩川100年プラン」を公表。 “持続可能な地域社会”の実現に貢献します。

地域経済の活性化は、  
美しい多摩の桜の観光まちづくりから

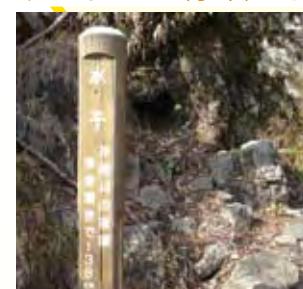
## 経済

- 多摩川フォトコンテスト写真展(3月)
- 桜ウォーキング(4月)
- 「美しき桜心の物語」の語り会
- 「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」運動

未来の桜守へ



すべてはここ(水干)から



夢のシンボルプラン

多摩川夢の桜街道  
<http://www.sakurakaido.jp>

明るい未来のまちづくりは、  
「次代を担う子どもたち」への環境教育から

## 教育文化

- 「多摩川の歌」普及活動
- 桜守学校活動
- 多摩川子ども環境シンポジウム(12月)
- 炭焼き体験と水辺の交流会(8月)
- カヤック体験教室(7月)



地球環境問題への取り組みは、  
身近な水辺の実態認識から

## 環境

- 桜等の植樹・維持再生活動
- 「美しい多摩川フォーラムの森」活動(森林の保全整備)
- 美しい多摩川クリーンキャンペーン(11月)
- 多摩川一斉水質調査(6月)

私たちといっしょに活動やイベントに参加してみませんか

第5回 2012.12.8(土)開催決定!!  
多摩川子ども環境シンポジウム

昭島市／フォレスト・イン 昭和館 [14:00~16:30](予定)

お問合せ・連絡先 美しい多摩川フォーラム事務局

東京都青梅市勝沼3丁目65番地  
(青梅信用金庫 地域貢献部内)  
TEL: 0428-24-5632

<http://www.tama-river.jp>

美しい多摩川

検索

